



2023年2月13日

各位

会社名 ラサ商事株式会社
代表者名 代表取締役社長 井村周一
(コード番号 3023 東証スタンダード)
問合せ先 取締役管理本部長 桜木和陽
(TEL : 03-3668-8231)

サステナビリティ基本方針の策定及び マテリアリティ(重要課題)の特定に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、持続可能な社会の実現と企業価値の向上に向けて、サステナビリティ基本方針の策定と、マテリアリティ(重要課題)決定のプロセスに沿ったマテリアリティの特定について決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. サステナビリティ基本方針

ラサ商事グループは“ラサ商事企業理念”に基づき、専門商社の枠組みを超えて、社会のインフラを支える付加価値創出企業へ進化することで、持続可能な社会の実現への寄与と、グループ全体の持続的な成長の両立を目指します。

2. マテリアリティ(重要課題)決定のプロセス

サステナビリティ基本方針に則り、社会にとっての重要度と、ラサ商事グループにとっての重要度が共に高い課題をサステナビリティ委員会で検討し、その課題をESG視点で捉え、マテリアリティを特定いたします。

↑ 社会にとっての重要度	大	・環境活動に対する貢献	・クリーンエネルギーへの貢献 ・温室効果ガス発生の抑制 ・グループ企業の内部統制再構築 ・正確な統制状況の把握
	中		・女性が活躍する機会の拡大 ・働く環境の向上 ・安全対策レベルの引上げ
	小	中	大
	→ ラサ商事グループにとっての重要度		

3. マテリアリティ（重要課題）

当社は社会のインフラを支えることで、持続可能な社会の実現へ寄与するため、マテリアリティ決定のプロセスに沿って、以下の3点をマテリアリティとして特定いたしました。

E. 脱炭素社会と環境保全への貢献

課題：クリーンエネルギーへの貢献

温室効果ガス発生の抑制

環境活動に対する貢献

S. 組織と人材の活性化

課題：女性が活躍する機会の拡大

働く環境の向上

安全対策レベルの引上げ

G. グループガバナンスの確立

課題：グループ企業の内部統制再構築

正確な統制状況の把握

4. マテリアリティに対する取り組みと関連する SDGs

E. 脱炭素社会と環境保全への貢献	<ul style="list-style-type: none">・ バイオガス、水力、地熱発電向けポンプ市場の開拓・ 太陽光発電の継続利用及び新規導入の検討・ カーボンニュートラル対応商品の開拓・ 自然環境保護、水衛生環境改善、感染症予防に対する貢献	     
S. 組織と人材の活性化	<ul style="list-style-type: none">・ 女性活躍推進法に基づく女性の積極的採用と営業職での育成強化・ オンライン営業やリモートワークなど新たな働き方の模索・ 安全対策情報のグループ共有	 
G. グループガバナンスの確立	<ul style="list-style-type: none">・ 子会社を含め、内部統制の見直しの実施・ 継続的なモニタリングの実施	

今後は、原則年2回開催されるサステナビリティ委員会にて、定期的なマテリアリティの見直しと、気候変動を含めた対応策の検討を行い、取締役会にて審議・決定してまいります。また、現在認識している事業等のリスクに気候変動リスクを加え、統合的にリスク管理を実施してまいります。

以上